



VIE-X088V/VIE-X08V

8型/7型ワイドVGA LED液晶
HDD ナビゲーション

取付説明書

安全にお使いいただくために	2
1. はじめに	4
2. GPSアンテナを取り付ける	7
3. フィルムアンテナを取り付ける	8
4. ハンズフリー電話用マイクを取り付ける	13
5. 接続する	13
6. ナビゲーション本体を取り付ける	25
7. 確認する	27
8. B-CAS(ビーキャスト)カードを挿入する	27
9. 接続状態を知る	28
10. B-CAS(ビーキャスト)カードをテストする	29
11. 車種専用セッティングをする	32

販売店様へ

製品取り付け終了後に、必ずこの取付説明書をお客様へお渡しください。

安全にお使いいただくために、必ずお守りください

- 本機の取り付けには、専門技術と経験が必要です。お買い上げ店での取り付けをお勧めします。
- ご使用前に、この取付説明書と別冊の取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
説明書の指示を守らなかった事による不具合に対して、当社は責任を負いかねます。
- この取付説明書は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

■ 誤った使用をした場合に生じる危害・損害の程度の説明

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■ お守りいただく内容の説明

 禁止	禁止(してはいけないこと)を示しています。	 強制	強制(必ず実行していただく内容)を示しています。
 禁止	分解禁止を示しています。		注意すべき内容を示しています。

警告

分解・改造をしないでください。事故・火災・感電の原因になります。



ネジなどの小物類は、幼児の手の届かないところに保管してください。飲み込んだ場合には、ただちに医師と相談してください。



ヒューズ交換は、規定容量(アンペア数)を守ってください。事故・火災の原因になります。



DC 12V マイナスアース車以外に接続しないでください。事故・火災の原因になります。



配線作業の前にはバッテリーのマイナス端子からアース線を外して、配線作業をしてください。感電・ケガの原因になります。



コードの被覆を切って、他の機器の電源を取らないでください。火災・感電の原因になります。



前方の視界を妨げる場所、ハンドル・変速レバーなど運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には、取り付けしないでください。事故・ケガの原因になります。



車体に穴を開ける場合には、パイプ・タンク・電気配線などを傷つけないでください。事故・火災の原因になります。



取り付け・アース接続には、ハンドル・ブレーキ・タンクなどのボルトやナットを使わないでください。制動不能・火災の原因になります。



禁止

助手席エアバッグの近くに製品を取り付けしないでください。エアバッグの動作を妨げ、事故・ケガの原因になります。



禁止

コード類は運転操作の妨げとならないように束ねてください。ハンドル・変速レバー・ブレーキペダルなどに巻き付くと、事故・故障の原因になります。



注意

説明書に従って、正しく接続してください。火災・事故の原因になります。



禁止

コードをシートレールにはさんだり、突起部に当てたりしないでください。断線やショートにより、感電・火災の原因になります。



通風孔・放熱板をふさがないでください。火災・故障の原因になります。



付属部品を指定通りに使い、しっかりと取り付けてください。事故・故障の原因になります。



禁止

水のかかるところ、湿気やホコリの多いところには取り付けしないでください。火災・故障の原因になります。



禁止

取り付け・配線には、専門技術と経験が必要です。お買い上げ店に依頼してください。



注意

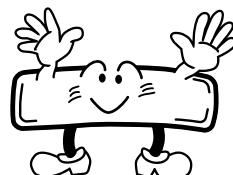
- ハードディスク(HDD)は強磁界に弱い為、ナビゲーション本体をスピーカーまたは磁力を持つ製品などからなるべく離して取り付けてください。HDD内のデータが消去される場合があります。
- 本機はインダッシュに取り付けてください。

1. はじめに

- 本説明書はVIE-X08Vのイラスト/画面を例に説明しています。
- 仕様及び外観は、改良のために予告なく変更する場合があります。
- 本説明書の写真やイラストは、撮影・印刷条件により、実物と印象が相違する場合があります。

次のことに注意しながら取り付け作業を進めてください。

- 作業には時間がかかります。明るいうちに終了できるように余裕を持って作業してください。
- 取り付けは、車種・グレード・年式によって異なります。取り付けに関わる情報をお買い上げの店より入手してください。
- 車のインパネなどの「取り付け取り外し情報」をお買い上げの店から入手してください。
- 動作確認の際に本機の操作を行いますので、取扱説明書も必ずお読みください。
- 希望する取り付け位置に対して、コードの長さが十分にあることを確認してください。
- 接続の際は、コードに付いているラベルや本説明書を確認しながら、注意して行ってください。
- RCAコード、ピンコード



家庭用機器の信号の受け渡しに利用される、RCA社考案のコネクター付きコードをいいます。カーオーディオはもちろん家庭のステレオ／ビデオ／テレビ等に幅広く採用されています。白がオーディオの左チャンネル、赤が右チャンネル、黄色がビデオ信号です。

- 組み合わせる製品によって使用できない場合があります。組み合わせる製品の取付説明書も合わせてご覧ください。
- 取り付け場所について
ディスクやSDメモリーカードの出し入れの際、車のシフト操作に支障がないことを確認のうえ取り付け場所を設定してください。
- 水平に対して40度以内に取り付けてください。(25ページ参照)
- 不明な点はお買い上げの店、インフォメーションセンターにお問い合わせください。



- 本機には保護フィルムが貼られています。画面を保護するため、取り付け作業はフィルムを貼ったまま行ってください。本機取り付け終了後、電源を入れてディスプレイを開いてからフィルムを外してください。

1 付属部品を確認し、工具／取り付け情報をそろえる。

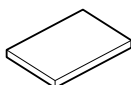
■ ナビゲーション本体取付用部品

バインドネジ
(M5×8)



×8

保護シート※1
(20cm×14cm)



※1 適度な大きさに切り取り、ケーブルや使用しないコネクターなどを保護する際に使用してください。

スポンジ※2



※2 使用方法は、「6. ナビゲーション本体を取り付ける」手順3(26ページ)を参照してください。

■ GPSアンテナ取付用部品

GPSアンテナ
(2.5m)



アンテナ取り付け
プレート



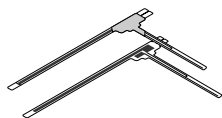
コードクランプ



×3

■ フィルムアンテナ取付用部品 (モノポールフィルムアンテナ式 ×2セット)

モノポールフィルム
アンテナ図A/図B*



2枚1組

アンテナコード
(モノポールフィル
ム用図A/図B*4m)



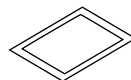
×2

クランプ



×6

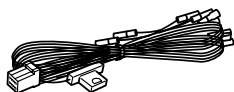
クリーナー



※ モノポールフィルムアンテナ図Aは必ずアンテナコードのアンブ裏面に印されている図Aと、モノポールフィルムアンテナ図Bは必ずアンテナコードのアンブ裏面に印されている図Bと取り付けてください。
アンテナコード図A、図Bを印す場所は、「5 アンブをフィルムアンテナに取り付ける」(12ページ)を参照してください。

■ コード類・その他品

電源コード
(VIE-X08Vのみ)

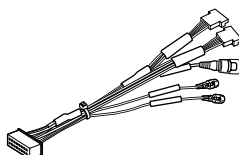


圧着コネクター

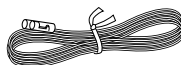


×2

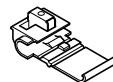
カメラコード



スピードセンサー
延長コード



圧着コネクター



ハンズフリー電話
用マイク(4m)

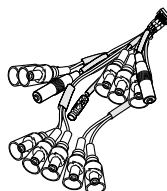


台座



両面テープ

プリアウト/外部入
力コード



B-CASカード



VIE-X088Vのお客様へ

VIE-X088Vの取り付けには、別売の「BIG X用パーフェクトフィット」が必要です。

- ・ 別売の「BIG X用パーフェクトフィット」を使用した取り付けについての詳細は、「BIG X用パーフェクトフィット」に付属の取付説明書を参照してください。
- ・ VIE-X088Vの電源コードは、「BIG X用パーフェクトフィット」に同梱されています。
- ・ 別売の「BIG X用パーフェクトフィット」については、アルパインのホームページを参照してください。

2 車を安全で平坦な場所に停める。

パーキングブレーキをかけ、エンジンキーを抜く。

3 バッテリーのマイナス端子を外す。



Memo

- コンピューターが装着されている車は、バッテリーのマイナス端子を外すとメモリーが消える場合があります。
 - 一部の車種（外国車など）では、バッテリーのマイナス端子を外すと、電装系に不具合が生じる場合があります。
-

4 灰皿、小物入れなどを外し、パネル(インパネ)を外す。

5 車から取り付けブラケットごとカーオーディオを外す。

6 オーディオに付いているケーブルを外し、ブラケットからオーディオを外す。

(ブラケットは、「6.ナビゲーション本体を取り付ける」(25ページ)で利用します。)



Memo

- 本機の付けかえ等で GPS アンテナを取り外すときには、アンテナ取り付けプレートを忘れずにいっしょに取り外すようにしてください。
また、取り外しの際には変形等が考えられますので、作業には十分ご注意ください。
-

2. GPSアンテナを取り付ける

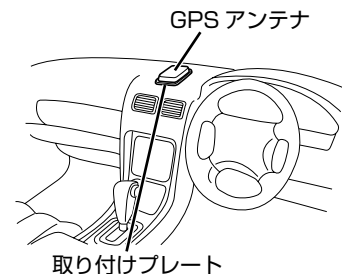


Memo

- エアバッグ作動時に、その動作を妨げる場所への取り付け、配線は行わないでください。
- アンテナの磁石は非常に強力です。車体に傷が付かないよう慎重に作業してください。また、磁気に弱いもの（磁気カード、時計など）には近づけないでください。
- アンテナのコードは非常にデリケートな部分です。必要以上に力を加えたり、曲げたりしないでください。
- アンテナには、塗装しないでください。受信性能が落ちる場合があります。
- アンテナは車外に取り付けしないでください。
- なるべく水平になるように取り付けてください。傾いた取り付けは、感度低下の原因になります。
- アンテナ取り付けの際は、TV アンテナケーブルと GPS アンテナが近づくと（15cm 以内）、GPS が受信できない場合があります。
- 別売の ETC 車載器やビーコンユニット等他機器に近づけて取り付けると、お互いに悪影響を与え合う可能性があります。取り付け場所には、十分ご注意ください。他機器とは十分な間隔を確保してください。なお、ナビゲーション本体とも 50cm 以上離して取り付けてください。

1 アンテナをダッシュボードに取り付ける。

- 貼り付け面の汚れを落としてから、取り付けプレートを貼り付ける。
- 取り付けプレートにアンテナを貼り付ける。
- なるべくガラス面に近い位置に取り付ける。



2 コードを固定する。

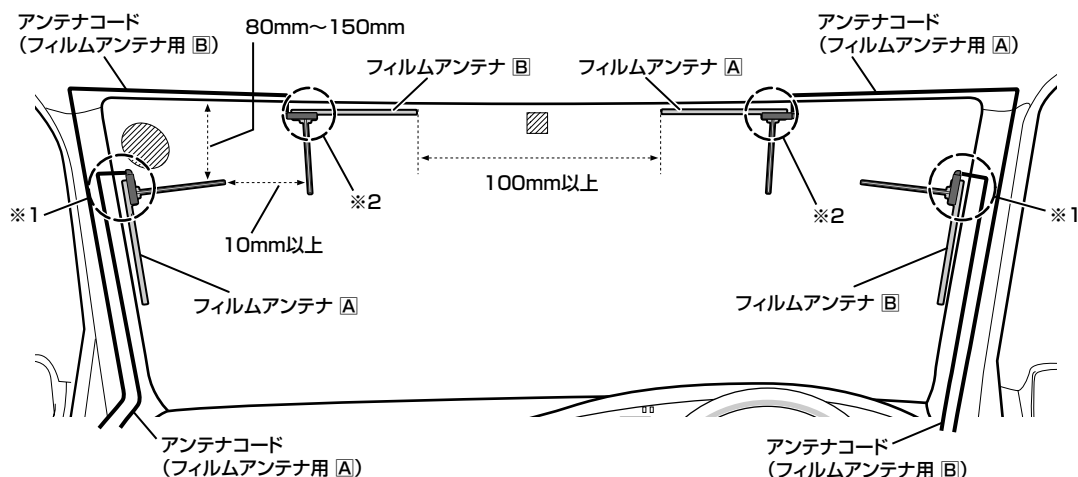
コードクランプでコードを固定する。

3. フィルムアンテナを取り付ける

● 取付完成概略図

国土交通省の定める保安基準に適合させるため、フィルムアンテナの給電端子は、必ず下記の様に貼り付けてください。

<車内からみた配線図例>



- 取り付けの際は、フィルムアンテナに印されている[A]、[B]の貼り付け左右位置を上図にて確認の上、取り付けを行ってください。
- ※1 フィルムアンテナの給電端子は、フロントウィンドウ左右端(セラミックライン)から25mm以内に必ず貼り付けてください。
- ※2 フィルムアンテナの給電端子は、フロントウィンドウ上端(セラミックライン)から25mm以内に必ず貼り付けてください。



- 図の [////] 部分の定期点検ステッカー・検査標章部にはフィルムを貼り付けしないでください。
- フィルムアンテナ [A] は必ずアンテナコードのアンブ裏面に印されている [A] と、フィルムアンテナ [B] は必ずアンテナコードのアンブ裏面に印されている [B] と取り付けてください。[A]、[B] を逆に取り付けると、受信性能の劣化につながります。
- アンテナコードの引き回し方向は、本取付完成概略図を参考にしてください。
- VIE-X088V の取り付けを行う際、車種によっては専用アンテナを使用して取り付ける車種があります。車種専用アンテナの取り付けについては、BIG X 用パーフェクトフィット（別売）の取付説明書を参照してください。



警告

- 前方の視界を妨げる場所、ハンドル・変速レバーなど運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には、取り付けないでください。事故・ケガの原因になります。
- コード類は運転操作の妨げとならないように束ねてください。ハンドル・変速レバー・ブレーキペダルなどに巻き付くと、事故・故障の原因になります。

- フィルムアンテナは、一度貼り付けると貼り直しできません。
- 本フィルムアンテナは、フロントウィンドウ専用です。フロントウィンドウ以外の場所には貼り付けないでください。
- フロントピラーにエアバックを搭載している車には、取り付けことはできません。
- 熱線反射タイプまたは熱線吸収タイプのガラスには、電波を通さないものがありますのでご注意ください。詳しくはカーディーラーへお問い合わせください。
- 車種によっては貼り付けられない場合があります。その場合はお買い上げの販売店にご相談ください。
- 必ずフロントウィンドウの指定された位置・寸法内に貼り付けてください。
- 本フィルムアンテナは、セラミックラインの上に貼り付けても問題はありません。できるだけ車体に近い場所に貼り付けてください。
- フロントウィンドウにTVアンテナ・FM多重用フィルムアンテナ(別売)などをすでに貼り付けている場合は、各アンテナから10cm以上程度離して貼り付けてください。このため指定の位置や寸法内に貼り付けられないことがあります。その場合はお買い上げの販売店にご相談ください。
- フィルムアンテナ貼り付け前に必ずフィルムアンテナとコードを仮止めして、コードの長さが十分にあること、およびテレビ、ラジオにノイズが入らないことを確認してください。
- フィルムアンテナの透明フィルムやアンプの保護シートをはがした後は、給電端子などに手を触れないでください。静電気による故障や汗などの汚れで接触不良の原因となります。
- フィルムアンテナを折り曲げないように、注意して取り扱ってください。
- 作業場所は風が無く、空気中にゴミ、ホコリなどが無い場所を選んでください。
- 気温が低い時に作業を行う時は、接着力の低下を防ぐため車内ヒーターやデフロスタースイッチをONにしてフロントウィンドウを暖めてから作業を行ってください。
- 車室内に貼り付けるアンテナはエアコン用モーターなどから出るノイズにより、テレビの映りが悪くなることがありますが故障ではありません。

1 アンテナの貼り付け位置を確認する。

1) フィルムアンテナをセロハンテープで仮止めする。

- 「5 アンプをフィルムアンテナに取り付ける」(12ページ)を参考に、アンプがフロントウィンドウ内におさまる位置にフィルムアンテナを仮止めする。このときアンプは、できるだけ車体に近い位置に貼り付けてください。
- フィルムアンテナ貼り付け位置、距離については、「取付完成概略図」(8ページ)を参考に貼り付けてください。

2) フィルムアンテナの貼り付け位置をセロハンテープ等でマーキングする。

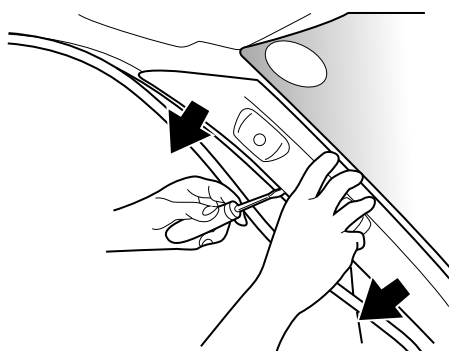
2 内装部品を取り外す。

アンテナコードを配線するために、内装部品(内張りなど)を取り外してください。

※ ここではまだ配線しないでください。

1) フロントピラーを取り外す。

また、フロントウィンドウ上側の車体面にて作業するため、必要に応じてマップライト、サンバイザー、天井の内張り等も外してください。



⚠ 注意

- 樹脂製の内装部品はツメや突起等で固定されており、無理に外すと破損や変形する場合があります。
- 貼り付けるウィンドウにFM/AMラジオアンテナが内蔵されている場合や他のフィルムアンテナが貼りつけられている場合は、干渉を避けるためアンテナが重ならないように、十分離して貼り付けてください。
- フィルムアンテナはとてもデリケートな為、作業時の取り扱いには十分ご注意ください。
- フロントピラーにエアバックを搭載している車には、取り付けことはできません。

3 フィルムアンテナを貼り付ける。

1) 仮止めしたフィルムアンテナを取り外す。

2) フロントウィンドウの汚れ(ごみ・油など)やくもり止めを付属のクリーナーを使ってきれいに拭きとる。油膜や糸くずが残っていると気泡発生の原因になります。

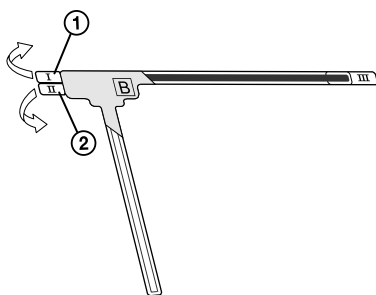
- 水または界面活性剤入りのクリーナーは使用しないでください。
- フロントウィンドウは、完全に乾いた状態にしてから作業を行ってください。
- 冬場での貼り付けの場合は、霜取りやウィンドウ面を暖めてから作業を行ってください。その際は、フィルムアンテナ自体も暖めてください。

3) アプリケーションフィルムの端をフロントウィンドウ貼り付け位置に合わせ、端から貼り付ける。

- 気泡が入ったり、しわが寄ったりしないように端から貼り付けてください。

※一度アンテナがフロントウィンドウに貼り付くと、貼り直しができないので注意してください。

<フィルムアンテナ>



- ① アンテナのアプリケーションフィルム(糊付きフィルム)から、ゆっくりとタグ「I」部のセパレーター(透明フィルム)をはがし、フロントウィンドウに貼り付ける。
- ② 続けて、タグ「II」部をゆっくりとはがし、フロントウィンドウに貼り付ける。

- アプリケーションフィルムにアンテナが残るように、透明のセパレーターをはがしてください。セパレーターをはがした状態では、車内から見たアンテナのパターンは銀色、糊面のパターンは黒色になります。

セパレーター側にアンテナが残った場合には

- アプリケーションフィルムを元に戻してアンテナを上から強くこすり、再度セパレーターをはがします。アプリケーションフィルムにパターンが移っていることを確認しながら、ゆっくりはがしてください。
- 最初はアプリケーションフィルムにパターンがあっても、途中からセパレーターに残る場合があります。その場合もアプリケーションフィルムを元に戻してアンテナを上から強くこすり、再度セパレーターをはがしてください。

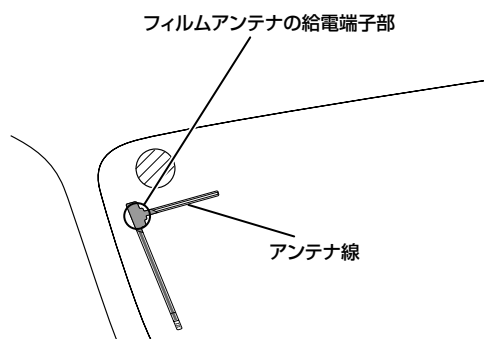


注意

- セパレーターを急にはがさないでください。アンテナが断線する恐れがあります。
- セパレーターをはがすときアプリケーションフィルムを強く曲げると、アンテナが断線する恐れがあります。
- セパレーターをはがした後は、アンテナに触れたり物を当てたりしないでください。皮脂や埃がつくとアンテナが貼りつかなくなります。

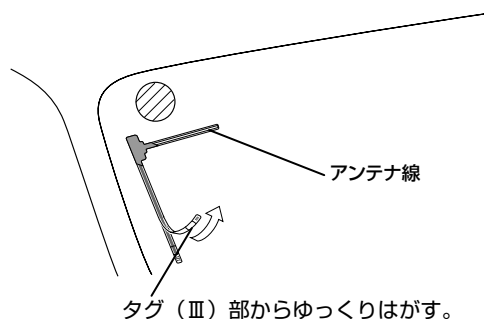
4) アンテナをしっかりガラスに密着させる。

- フィルムの上からアンテナ線を中心に指で強く押す(困難な場合は、樹脂ヘラ使用)。アンテナ線の無い部分は、あとではがしますので、強く押す必要はありません。
- 給電端子部分は、気泡が残らないように強めに押しつけてください。



5) アンテナがフロントウィンドウに定着していることを確認しながら、アプリケーションフィルムをゆっくりはがす。

- アプリケーションフィルムと一緒にアンテナがはがれる場合は、アプリケーションフィルムを一度もとに戻し、アンテナ線を中心に強く押し定着させてから再度はがしてください。



6) アンテナを柔らかい布などで上から押さえつける。

- アンテナの上から丁寧に押さえつけてください。
- 給電端子部分には、直接手で触れないでください。皮脂などの汚れが付着すると給電端子部分が錆びて本来の性能が発揮できなくなります。

4 コードを配線する。

1) アンテナ貼り付け位置を目安に、アンテナコードを配線する。

- 実際に配線する前に、コード類を市販のセロハンテープなどで仮止めし、アンテナコードのアンブ給電端子の先端部がフィルムアンテナに届く位置にくるように調整してください。

5 アンブをフィルムアンテナに取り付ける。

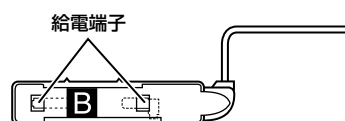
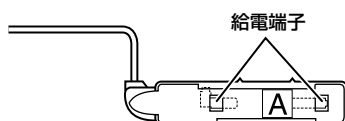


Memo

- モノポールフィルムアンテナ [A] は必ずアンテナコードのアンブ裏面に印されている [A] と、モノポールフィルムアンテナ [B] は必ずアンテナコードのアンブ裏面に印されている [B] と取り付けてください。[A]、[B] を逆に取り付けると、受信性能の劣化につながります。

＜アンテナコード・アンブ部裏面＞
(モノポールフィルムアンテナ用 [A])

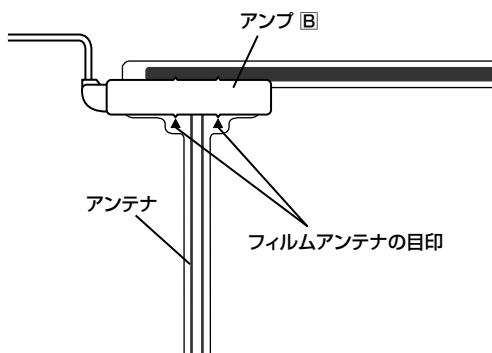
＜アンテナコード・アンブ部裏面＞
(モノポールフィルムアンテナ用 [B])



1) アンブ裏面(給電端子部)の保護シートをはがす。

2) アンブの給電端子突起部を、フィルムアンテナの目印に合わせて貼り付ける。

＜モノポールフィルムアンテナ [B] の場合＞



6 配線および内装部品(内張など)を元に戻す。

- 1) アンテナコードを本機背面へ接続する。(「フィルムアンテナ接続図」(17ページ)を参照ください。)
- 2) 付属のコードクランプを使用して、仮止めしていたコード類を固定し、内装部品(内張など)を元に戻す。



注意

- 天井などの内装部品に無理な力を加えたり、折り曲げないように注意してください。
- 給電端子は正しい位置に貼り付けてください(端子のズレや浮きなどの原因になり、本機の性能が発揮できません)。
- 配線作業時は給電端子に負担を掛けないでください(給電端子をささえながらコードの配線を行ってください)。
- 引き回しに余ったアンテナコードは、他機器の近くには置かないでください。感度の劣化がおきる場合があります。

4. ハンズフリー電話用マイクを取り付ける

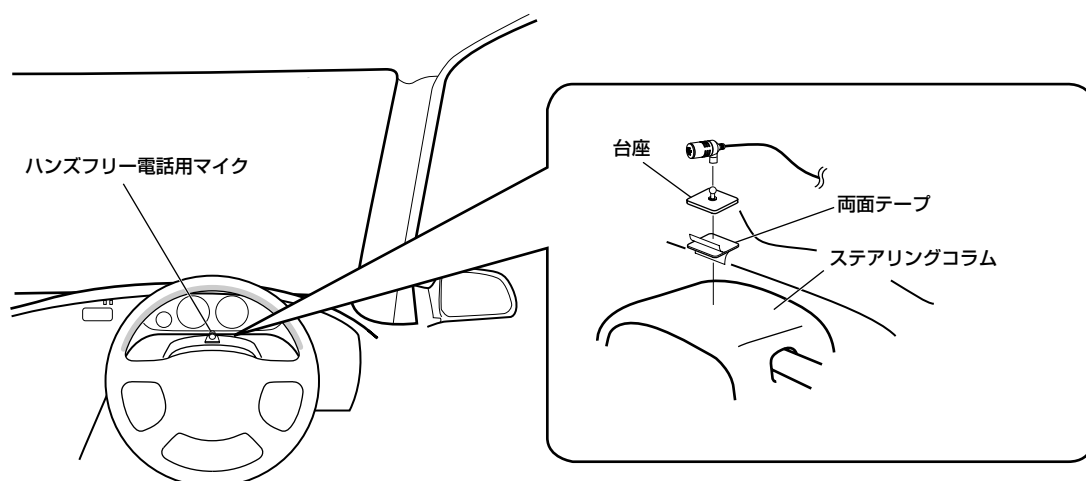


注意

安全にお使いいただくために、次のような場所に取り付けてください。

- 安定しているしっかりした場所。
- 運転したときに視界や運転操作の妨げにならない場所。
- ハンズフリー電話用マイクは、ドライバーの声が拾いやすい場所に取り付けてください。発話するときに、姿勢が変わる様なことがあると、走行中の安全に支障をきたします。ドライバーの声が拾いやすい様に、マイクの向きや距離を考慮してから取り付けてください。

1 ハンズフリー電話用のマイクを取り付ける。



注意

- ハンズフリー用マイクのコードは、ハンドル操作やブレーキ操作など運転操作の妨げにならないように配線してください。

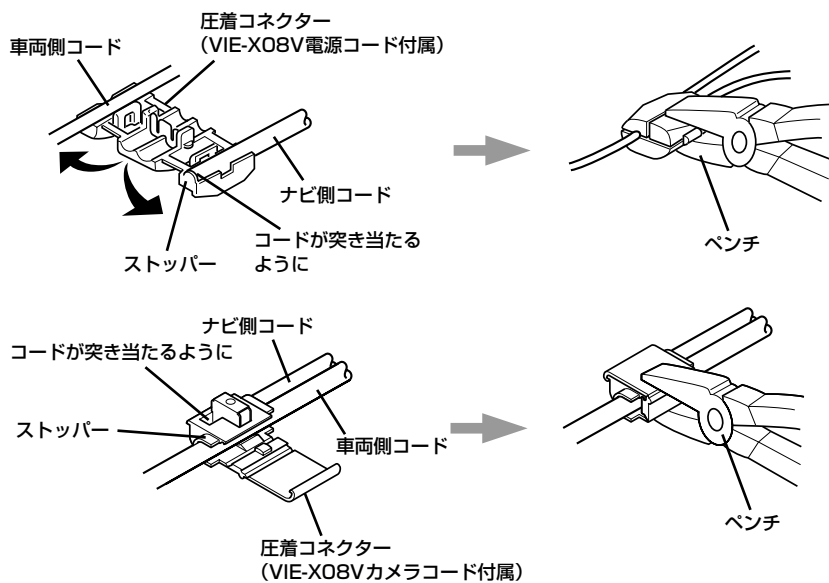
5. 接続する 接続するごとに ☐ OK に ✓点をつけてください。

1 はじめに

- 接続は、車の電装系を理解できる知識が必要です。曖昧な理解で作業を進めると車体に重大な影響を与える場合がありますので、専門業者に依頼することをお勧めします。
- 接続は「奥までしっかり差し込んで」ください。誤接続を避ける為に、接続するたびに接続図にチェックマークを書き込んでください。
- 接続しないコードは、コードの端にビニールテープなどを巻いてください。
- 接続の際は、それぞれの製品に付属されている専用コードをご使用ください。なお、関連製品の接続に関する説明書も合わせてご覧になり、作業を進めてください。

2 車両ハーネスを確認する。

- 必要に応じて圧着コネクタを装着する。



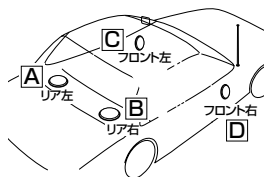
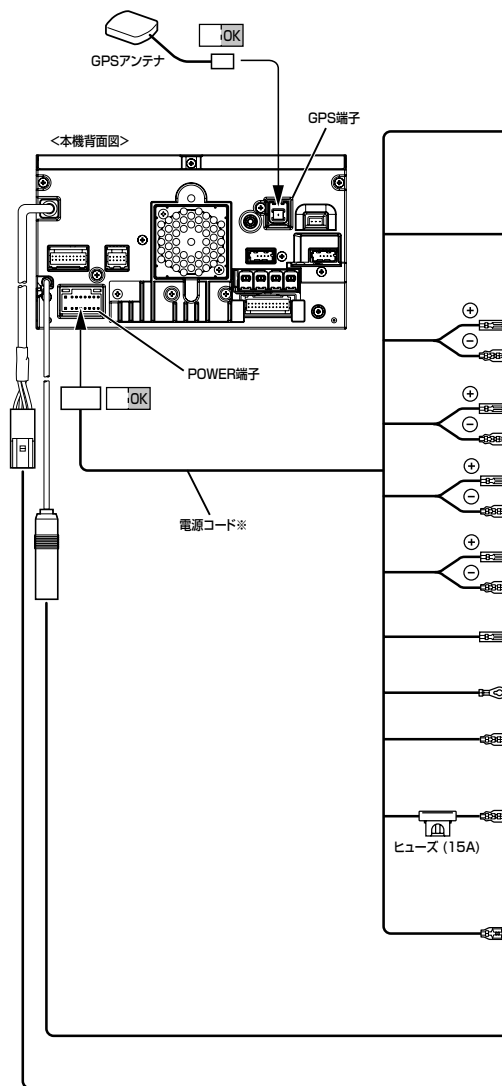
3 接続する。



注意

- 正しい接続をする。
正規の接続を行わないと、火災や事故の原因となることがあります。

● 基本接続図



コード色	コード仕様	接続先
黄/青	・パーキングブレーキコード(PARKING BRAKE) パーキング、ブレーキの状態を本機に伝えます。	パーキングブレーキの状態を本機に伝えるため、パーキングブレーキスイッチの電源側に必ず接続してください。不明な点はお買い上げ店にご相談ください。
橙/白	・リバースコード(REVERSE)	車のバック時に自車位置精度を向上させるために、車のバックランプ信号線のプラス側に接続します。レバーのバック(R)に連動して、自車マークがバックするようになります。バックカメラ接続時には、シフトレバーのバック(R)に連動して、バックカメラの映像に自動的に切りかえます。
緑	・スピーカーコード(リア左)(R-LCH) リア左スピーカーを駆動する信号を出力します。接続するスピーカーは、インピーダンスが3.2~8Ωのものを使用してください。	リア左のスピーカーに接続 A
緑/黒		
紫	・スピーカーコード(リア右)(R-RCH) リア右スピーカーを駆動する信号を出力します。接続するスピーカーは、インピーダンスが3.2~8Ωのものを使用してください。	リア右のスピーカーに接続 B
紫/黒		
白	・スピーカーコード(フロント左)(F-LCH) フロント左スピーカーを駆動する信号を出力します。接続するスピーカーは、インピーダンスが3.2~8Ωのものを使用してください。	フロント左のスピーカーに接続 C
白/黒		
灰	・スピーカーコード(フロント右)(F-RCH) フロント右スピーカーを駆動する信号を出力します。接続するスピーカーは、インピーダンスが3.2~8Ωのものを使用してください。	フロント右のスピーカーに接続 D
灰/黒		
青/白	・リモートオンコード(AMP REMO) 本機の電源ON/OFFとアンプなどの周辺機器のON/OFFを連動させます。	アンプなど追加の際に使用
黒	・アースコード 車体の金属部分へしっかりと固定します。	車のボディーの金属部分に確実に接続してください。不十分ですと雑音や誤動作の原因になります。
赤	・ACC電源コード(ACC) エンジンキーに連動した電源を本機に供給します。	ACCポジションで電源が供給されるコードに接続
黄	・バッテリー電源コード エンジンキーに関係なく常に電源を本機に供給します。通常、バッテリーコードの接続で十分ですが、さらに良い音で楽しみたいときは、直接車側のバッテリーに配線すると良いでしょう。詳しくは、お買い上げ店にご相談ください。	常に電源が供給される(バッテリー電源プラス)コードに接続
青	・パワーアンテナ / ブースターコード(P. ANT) エンジンキーのACC ON/OFFに連動してパワーアンテナを伸縮させる信号を出力します。また、ウィンドウシールドアンテナなどブースターが付いている車輛はブースター電源として使うことができます。(ブースターが付いているものは必ず接続してください。接続を忘れるとラジオの受信状態が極端に悪くなります。)	車のパワーアンテナコードまたはアンテナブースターに接続
	・アンテナソケット(VICS/ラジオ共用) アンテナからの信号を受け取るコードです。	車のアンテナプラグに接続
	・BEACON入力コネクター 別売のビーコンユニット(HCE-T062)とシステムアップするときに使用します。	別売ビーコンユニット(HCE-T062)と接続

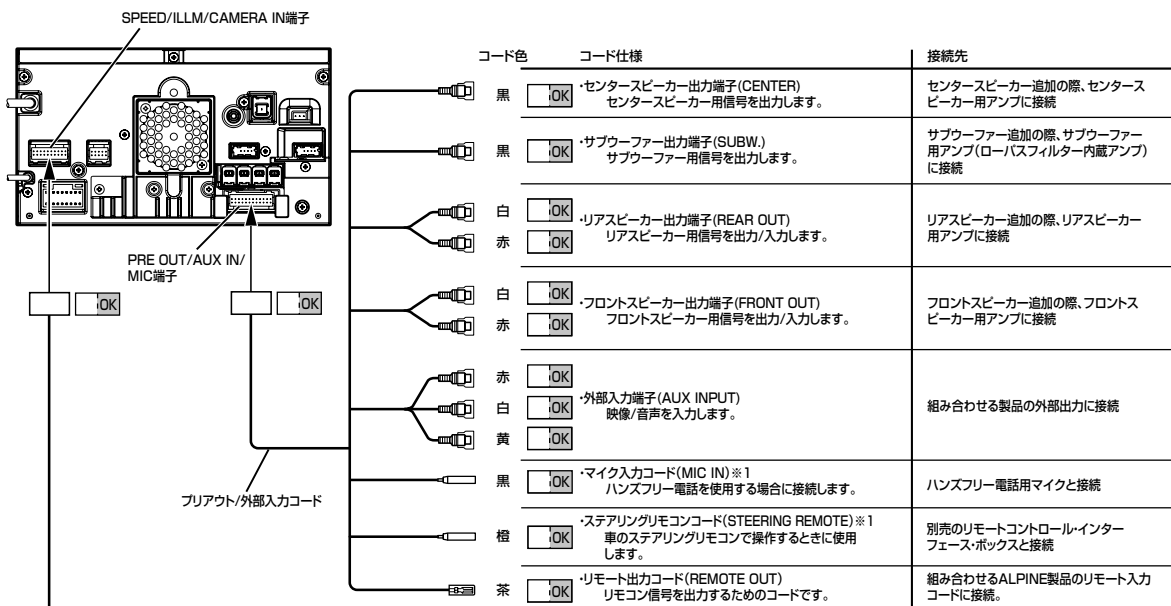
※ VIE-X088Vお買い上げのお客様は、別売の「BIG X用パーフェクトフィット」に同梱されている電源コードをご使用下さい。

ブリアウト/外部入力コード ➡ 16ページ

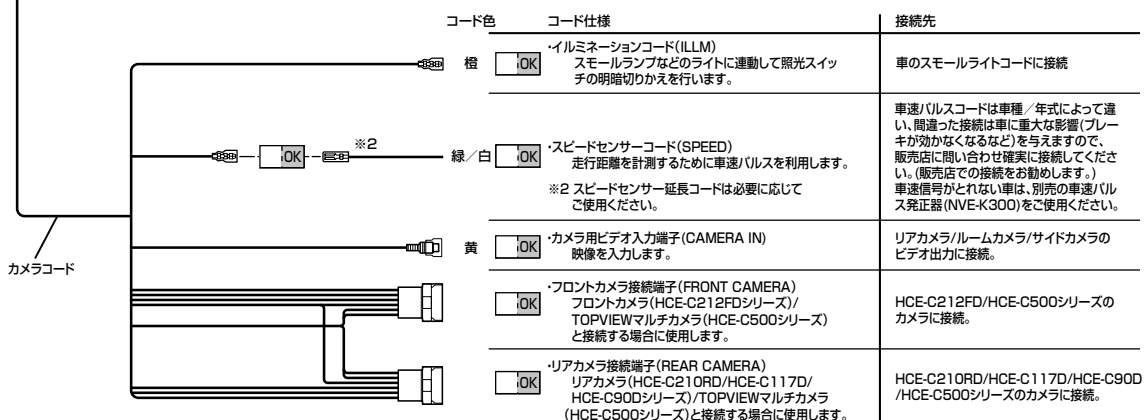
カメラコード ➡ 16ページ

フィルムアンテナの接続 ➡ 17ページ

ETC車載器またはDSRC車載器、ビーコン(VICS)、携帯電話、ハンズフリー電話用マイクの接続 ➡ 18ページ



※1 マイク入力コードとステアリングリモコンコードは同じ形状のため、色に注意して間違いないように接続してください。

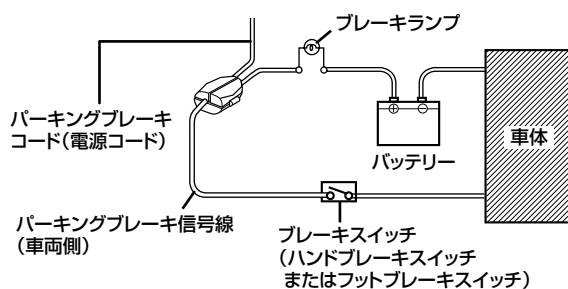
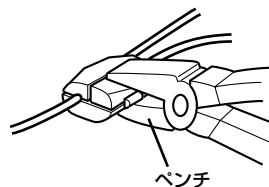


パーキングブレーキコードを接続する。

車両側のパーキングブレーキ信号線に、パーキングブレーキコードを圧着コネクタを使用して接続する。

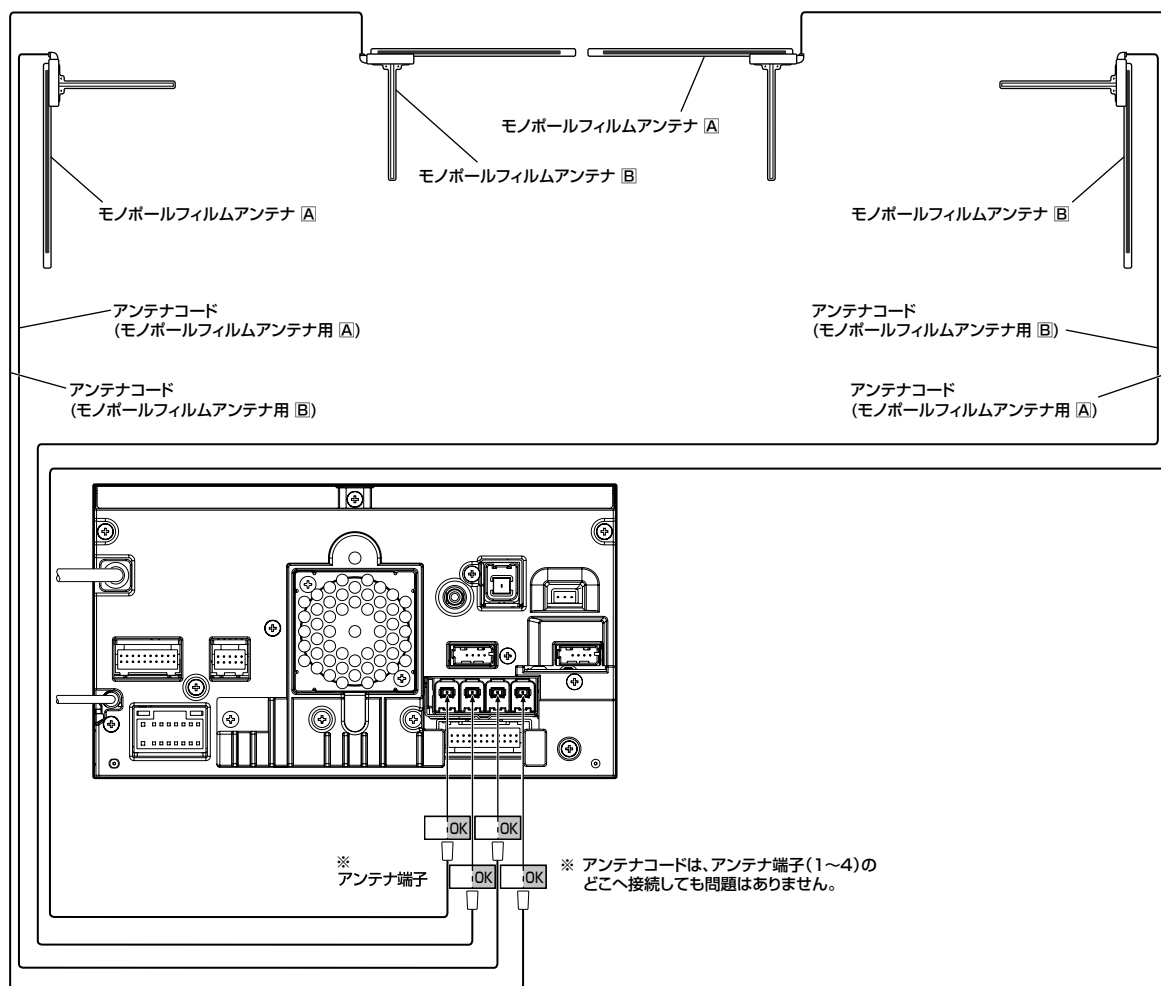
パーキングブレーキコードは、必ずパーキングブレーキスイッチの電源側に接続する。

パーキングブレーキコードは、必ず接続してください。



パーキング線が無い車の場合など不明点は、お買い上げ店にお問い合わせください。

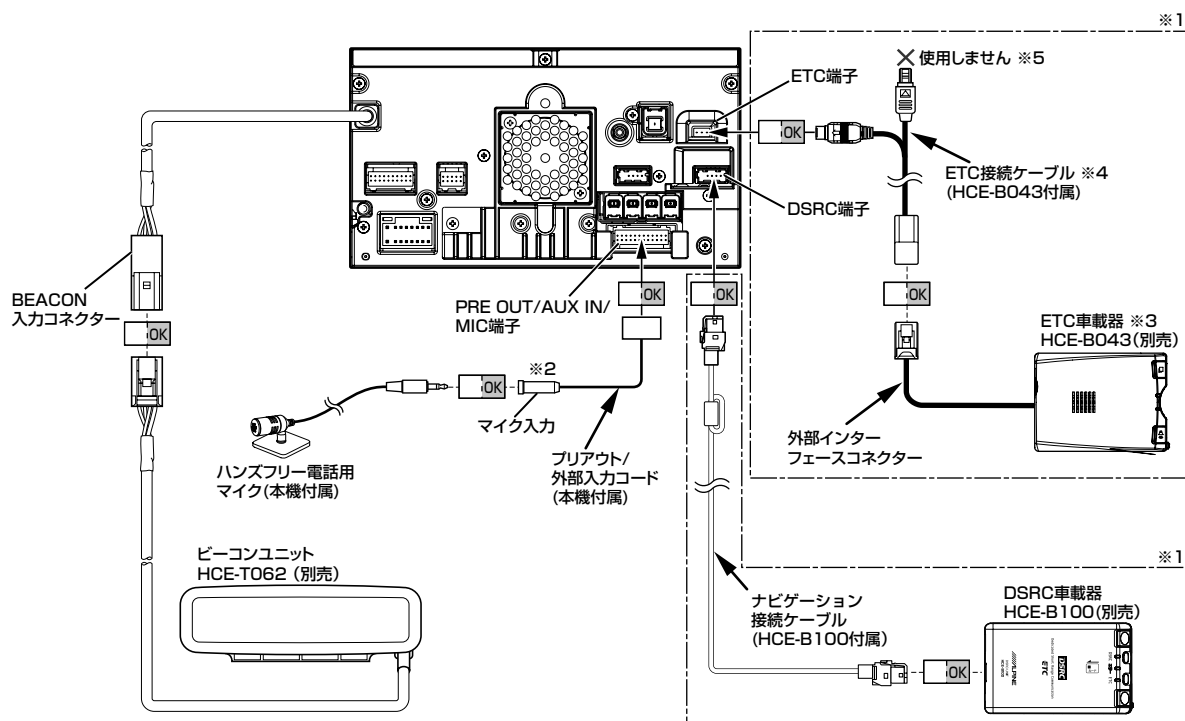
● フィルムアンテナ接続図



Memo

- モノポールフィルムアンテナAは必ずアンテナコードのアンプ裏面に印されているAと、モノポールフィルムアンテナBは必ずアンテナコードのアンプ裏面に印されているBと取り付けてください。A、Bを逆に取り付けると、受信性能の劣化につながります。

● ビーコン (VICS)、ETC 車載器※¹ または DSRC 車載器※¹、携帯電話、ハンズフリー電話用マイクを接続する



※1 ETC車載器とDSRC車載器を同時に接続することはできません。

※2 マイクはマイク入力コードに確実に接続してください。

ステアリングリモコンコードや、別売のKCU-460IVのピンジャックに接続しても使用できません。

※3 HCE-B033を接続する場合は、専用の別売ETC接続ケーブル・KWE-103Nを使用してください。

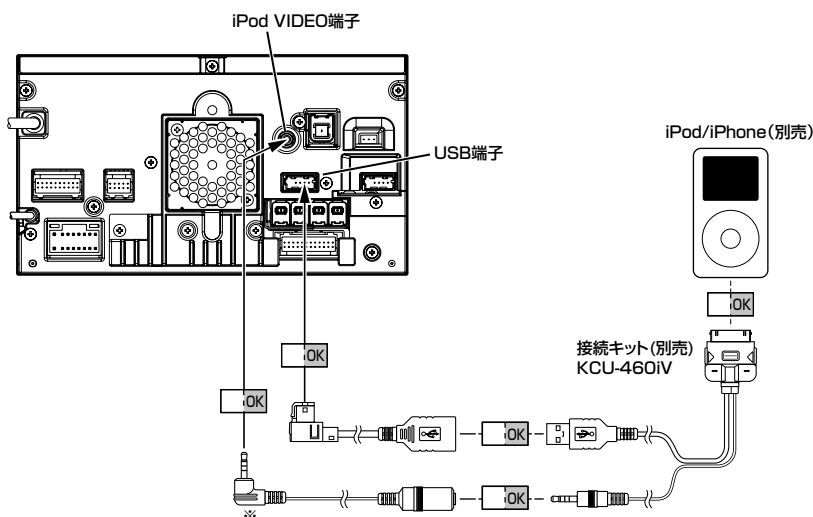
※4 本機のETC端子と、ETC TYPE-A (赤色チューブ) の端子を接続してください。

※5 ハーネス固定テープで留めてください。



- 別売ビーコンユニット・HCE-T062をご使用ください。
- 別売ETC車載器・HCE-B033/HCE-B043またはDSRC車載器・HCE-B100をご使用ください。HCE-B033を接続するには専用の別売ETC接続ケーブル(KWE-103N)が必要です。
- 詳しい接続に関しては、接続する製品の取付説明書も合わせてご覧ください。

● iPod/iPhone を接続する

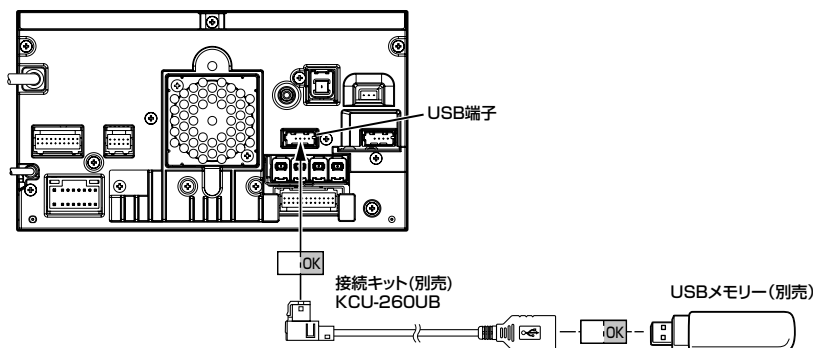


※ マイク入力コードやステアリングリモコンコードに接続しても使用できませんので、注意して接続してください。



- iPod/iPhoneの接続には別売接続キット KCU-460iVが必要です。(KCU-450iVには対応しておりません。)
- iPod/iPhoneとUSBメモリーまたはウォークマン® を同時に接続することはできません。
- 駐車した車の中の温度は推奨利用温度の範囲を超えることがありますので、iPod/iPhoneを車の中に置いたままにしないでください。

● USB メモリーを接続する



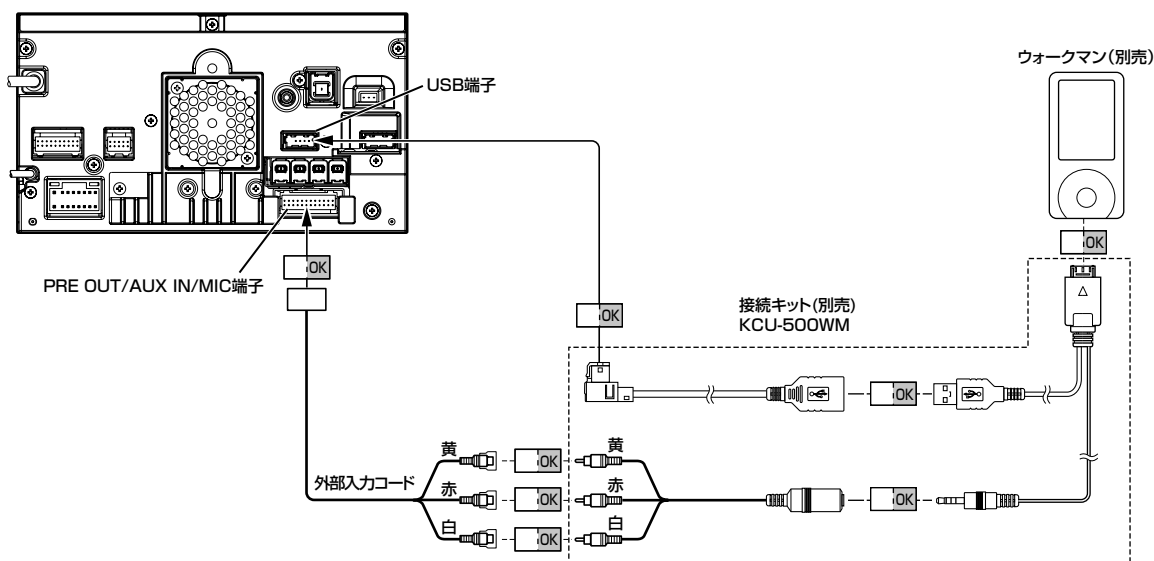
- USBメモリーの接続には別売接続キット KCU-260UBが必要です。別売のKCU-460iVまたはKCU-500WMのUSB延長コードを使用し接続することもできます。
- USBメモリーとiPod/iPhoneまたはウォークマン® を同時に接続することはできません。
- 駐車した車の中の温度は推奨利用温度の範囲を超えることがありますので、USBメモリーを車の中に置いたままにしないでください。
- USBメモリーは設定・情報画面かAVソースメニュー画面で **USB解除** にタッチした後か、本機の電源がOFFになっている時に取り外してください。本機の電源ON中に **USB解除** にタッチせず外すと、USBメモリーが破損する場合があります。

● ウォークマン®を接続する

<ウォークマン®接続時の注意>

本機へウォークマン®を接続する際は、ウォークマン®本体のホームメニュー「各種設定」から下記の設定を行ってください。設定を行わないと、歌詞やジャケット写真またはビデオ映像を本機へ映し出すことができません。(音楽再生画面・音楽サーチ画面・ビデオ再生画面以外は本機で表示できません。)

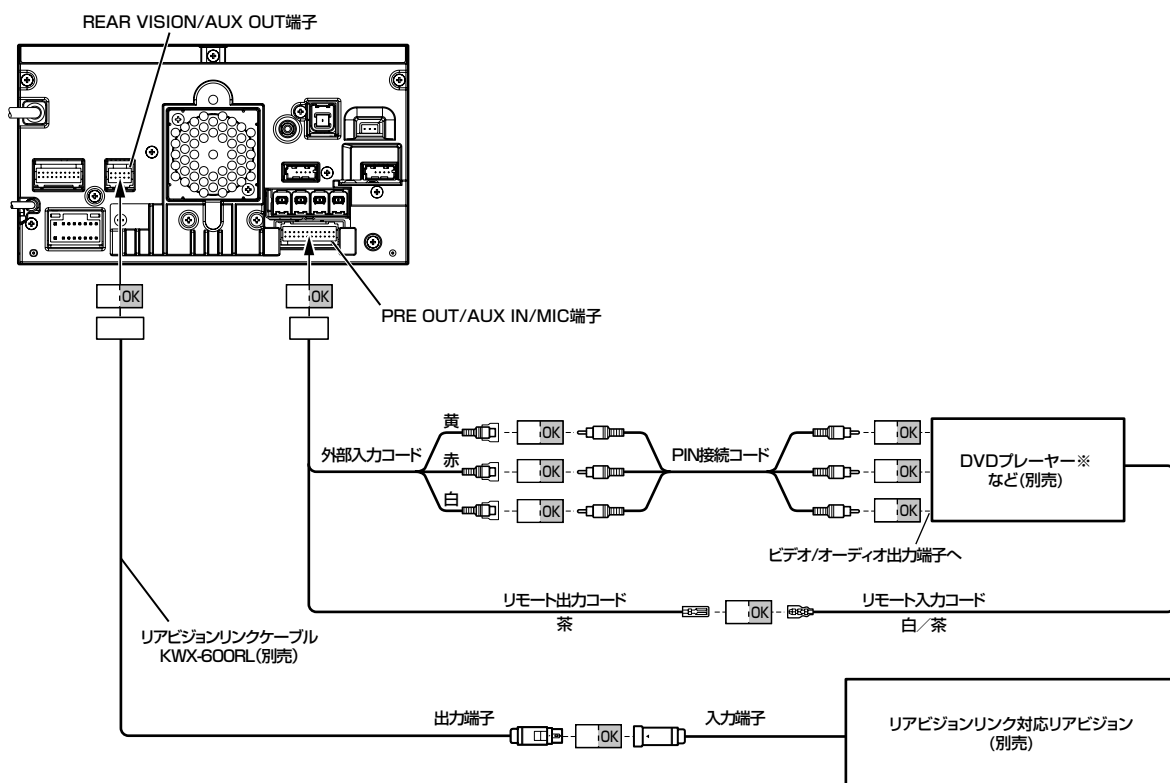
- 「ビデオ設定」→「画面オフ設定」→[常時画面オン]
- 「ビデオ設定」→「テレビ出力(ビデオ)」→[オン]
- 「ビデオ設定」→「テレビ出力サイズ」→[16:9]
- 「音楽設定」→「テレビ出力(ミュージック)」→[オン]



- ウォークマン®の接続には別売接続キットKCU-500WMが必要です。
- ウォークマン®とiPod/iPhoneまたはUSBメモリーを同時に接続することはできません。
- 駐車した車の中の温度は推奨利用温度の範囲を超えることがありますので、ウォークマンを車の中に置いたままにしないでください。
- 外部入力の名称を設定することができます。
設定方法は **設定** スイッチを押し、**設定・編集** → **各種設定** → **AV** タブ → **外部接続機器選択** の順にタッチし **ウォークマン(R)** を選択し **完了** にタッチしてください。
- ウォークマン®を接続した場合、音声出力が小さいため本機 ソース別音量調整 で音量レベルを「14ステップ」へ設定することをお勧めします。
設定方法は [設定] スイッチを押し、**設定・編集** → **音質調整** の順にタッチし、**詳細設定2** タブ → **ソース別音量調整** → **ウォークマン(R)** を選び、音量レベル「14ステップ」に調整し **完了** にタッチしてください。(音量調整は、2011年7月現在発売の機種を接続した場合の値です。それ以降発売された機種については、お好みの音量に調整してください。)

● リアビジョンリンク対応リアビジョンを高画質接続する、外部入力（DVD プレイヤーなど）を接続する

別売のリアビジョンリンクケーブル（KWX-600RL）を使用する場合

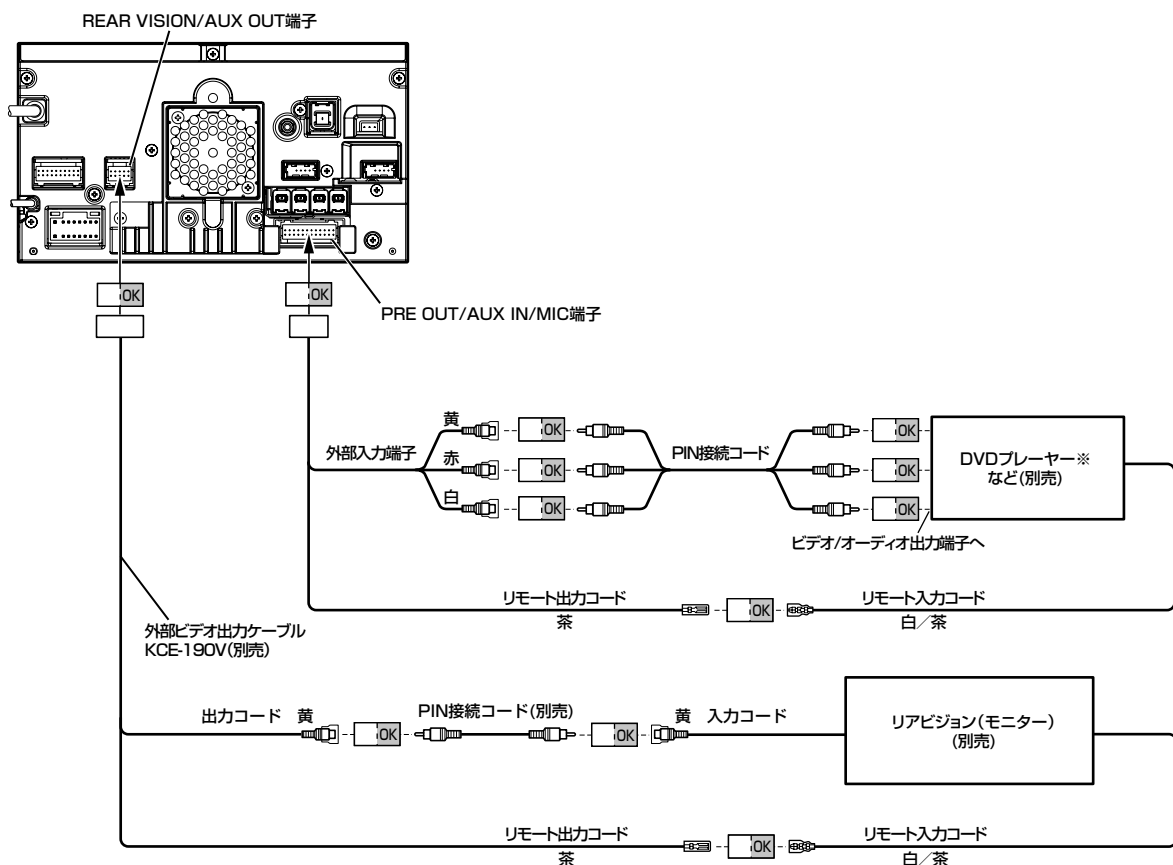


※本機の外部入力へDVD再生機器を接続しコピーガード情報のあるDVDを再生した場合、リアビジョンへの映像出力は行われず、リアビジョンは黒画面表示のままとなりますが故障ではありません。このような状態になってしまった場合は、本機のAVソースを切りかえて解除してください。解除しないまま外部入力に機器を接続し映像を再生しても、リアビジョンが黒画面表示となる場合があります。



- 別売のリアビジョンリンクケーブル(KWX-600RL)・リアビジョンリンク対応リアビジョンについては、アルパインホームページ<<http://www.alpine.co.jp>>、もしくはインフォメーションセンターまでお問い合わせください。
- 外部入力の名称を設定することができます。
設定方法は **設定** スイッチを押し、**設定・編集** → **各種設定** → **AV** タブ → **外部接続機器選択** の順にタッチし接続した機器に合わせて表示名を選択し **完了** にタッチしてください。
- 詳しい接続に関しては、接続する製品の取付説明書も合わせてご覧ください。

別売の外部ビデオ出力ケーブル（KCE-190V）を使用する場合

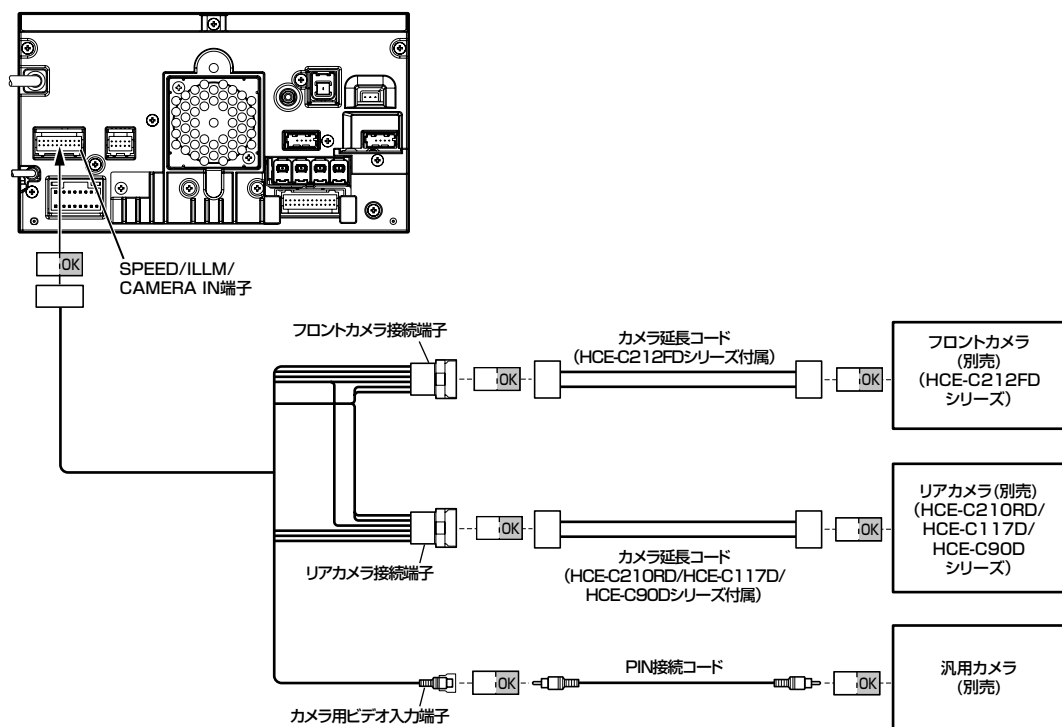


※本機の外部入力へDVD再生機器を接続しコピーガード情報のあるDVDを再生した場合、リアビジョンへの映像出力は行われず、リアビジョンは黒画面表示のみとなりますが故障ではありません。このような状態になってしまった場合は、本機のAVソースを切りかえて解除してください。解除しないまま外部入力に機器を接続し映像を再生しても、リアビジョンが黒画面表示となる場合があります。



- 別売の外部ビデオ出力ケーブル・KCE-190V対応モニターについては、アルパインホームページ<<http://www.alpine.co.jp>>、もしくはインフォメーションセンターまでお問い合わせください。
- 外部入力の名称を設定することができます。
設定方法は **設定** スイッチを押し、**設定・編集** → **各種設定** → **AV** タブ → **外部接続機器選択** の順にタッチし接続した機器に合わせて表示名を選択し **完了** にタッチしてください。
- 詳しい接続に関しては、接続する製品の取付説明書も合わせてご覧ください。

● フロントカメラ、リアカメラ、汎用カメラ（ルームカメラ / サイドカメラ）を接続する



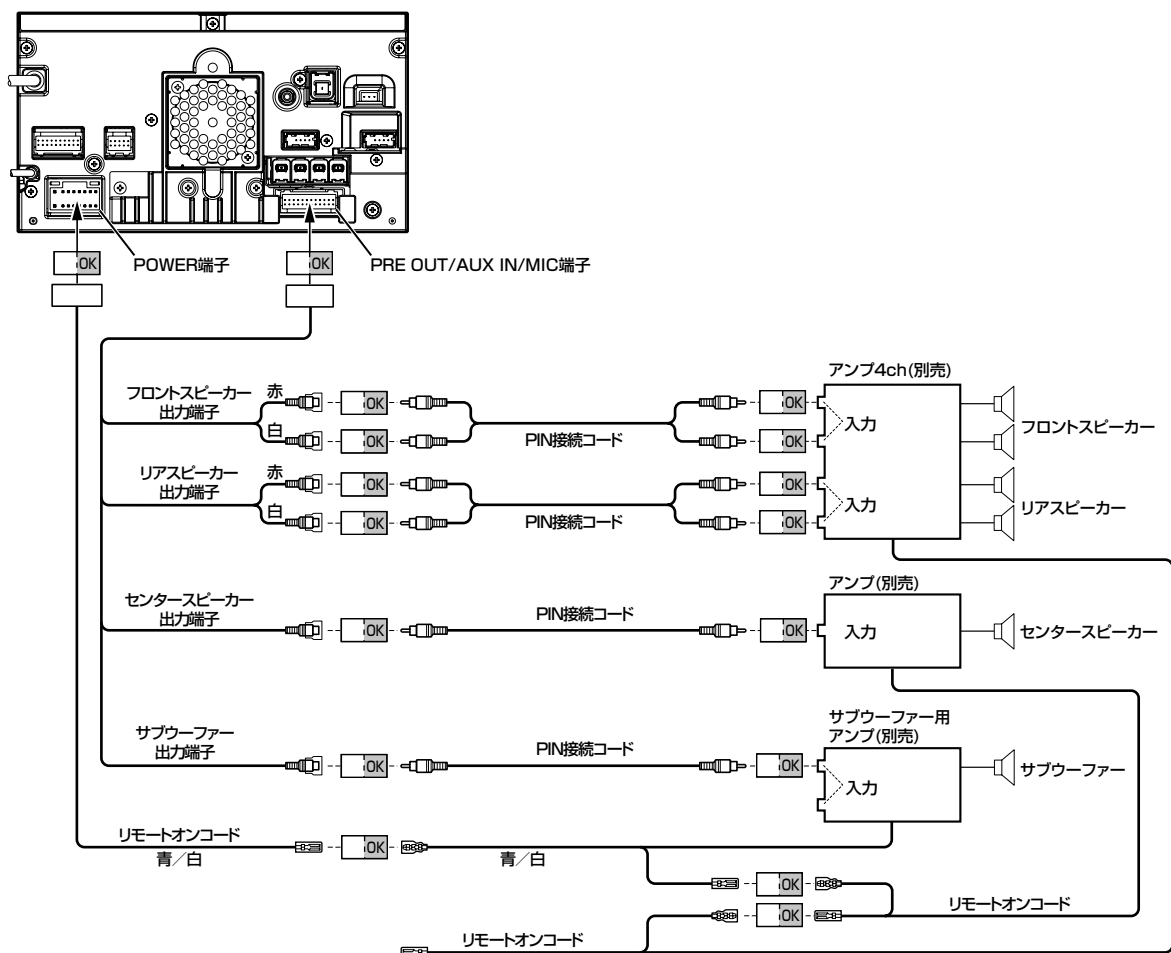
- リアカメラを、リアカメラ接続端子とカメラ用ビデオ入力端子に同時接続することはできません。
- TOPVIEWマルチカメラ接続に関しては、HCE-C500シリーズの取付説明書をご覧ください。
- TOPVIEWマルチカメラ接続時は、他のリアカメラ/フロントカメラを接続することはできません。
- 汎用カメラの名称を設定することができます。取扱説明書「5.6 各種設定－その他 設定画面について」－「汎用カメラ接続」を参照してください。
- フロントカメラ接続時にスピードセンサーコードが接続されていないと、フロントカメラ速度連動表示を行うことができません(取扱説明書「5. 設定・編集」－取扱説明書「5.6 各種設定－その他 設定画面について」－「フロントカメラ速度連動表示」を参照してください。また、リアカメラ接続時にリバースコードが接続されていないと、シフトレバーをバックギア(R)に切りかえてもリアカメラ画面に切りかわりません。
- 詳しい接続に関しては、接続する製品の取付説明書も合わせてご覧ください。



注意

- 汎用RCA入力カメラ接続時に、ドライブインフォメーション画面でリアカメラ映像を表示させるには、バックカメラのリバース線(橙/白)を本機など製品側のACC電源コードか、車両側のACC電源コードに接続してください。本機のリバースコード(橙/白)はお車のバックランプ信号線のプラス側に接続します。

● 外部アンプを接続する（5.1ch 使用時）



- 取扱説明書「5.9 音質調整画面－詳細設定2画面について」－「スピーカー設定」を参照してください。
- 詳しい接続に関しては、接続する製品の取付説明書も合わせてご覧ください。

6. ナビゲーション本体を取り付ける

ナビゲーション本体取り付け上のご注意

- HDDは強磁界に弱い為、データが消去される場合があります。ナビゲーション本体をスピーカーまたは磁力を持つ製品などからなるべく離して取り付けてください。
- 車内の温度が低い(0℃以下)場合はHDDが正常に動作しない場合があります。常温になってからお使いください。
- HDDは精密な部品を用いて精密に組み立てられています。性能を維持するために、ナビゲーション本体に無理な力を加えたり、強い振動を与えないでください。

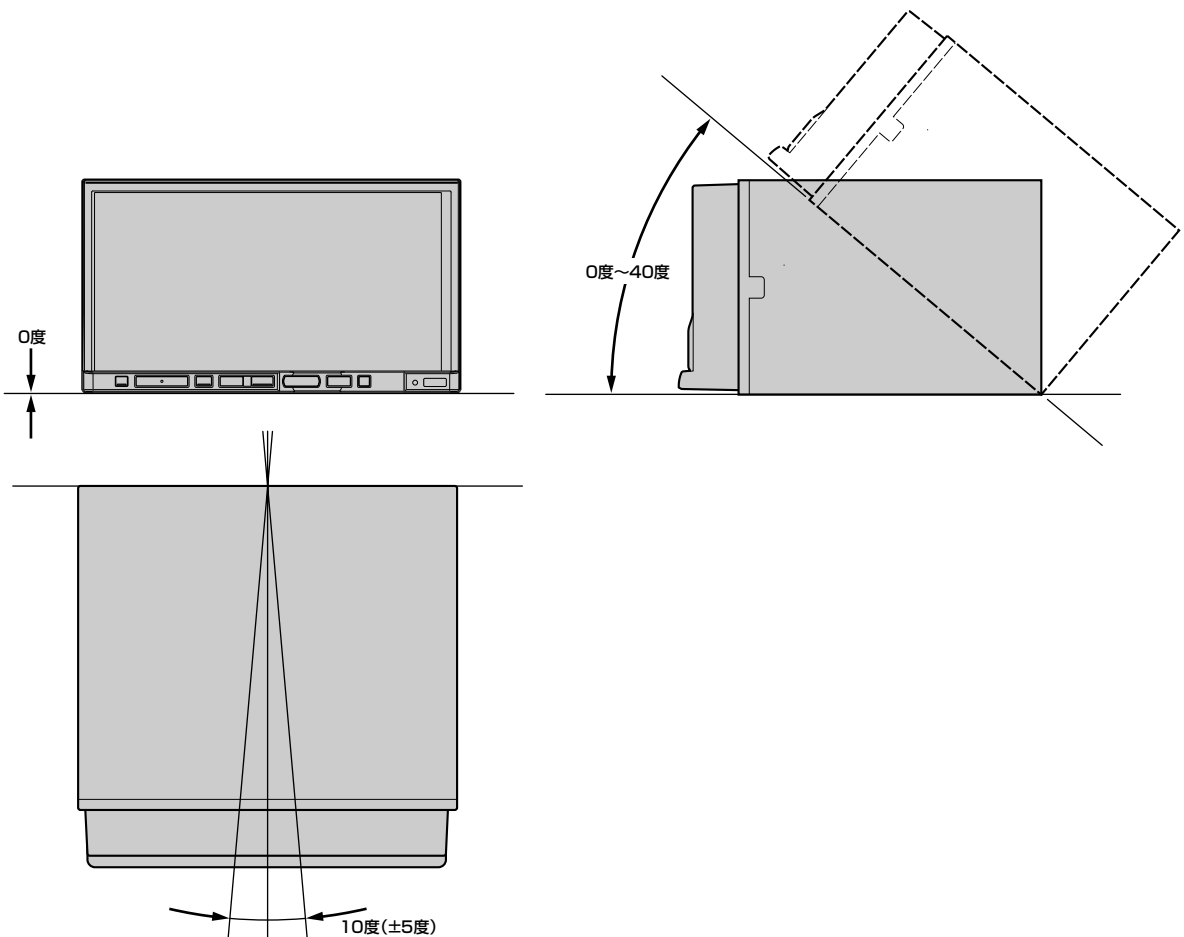
VIE-X088Vのお客様へ

VIE-X088Vの取り付けには、別売の「BIG X用パーフェクトフィット」が必要です。

- ・ 別売の「BIG X用パーフェクトフィット」を使用した取り付けについての詳細は、「BIG X用パーフェクトフィット」に付属の取付説明書を参照してください。
- ・ 別売の「BIG X用パーフェクトフィット」については、アルパインのホームページを参照してください。

＜ナビゲーション本体の取り付け角度＞

- 本機取り付け角度は、下記の角度の範囲内で、なるべく水平に取り付けてください。取り付け角度が大きいと現在地を正しく表示できなくなるほか、本機故障の原因となります。

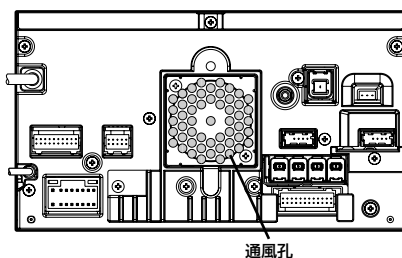




注意

通風孔をふさがない。

- 通風孔をふさがないでください。
- 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災・故障の原因になります。



Memo

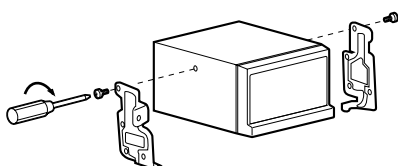
- 取り付けの際、通風孔の開口部にハーネス等を巻き込まないようにご注意ください。
- 通風孔に強い力を加えないように注意してください。破損の原因になります。

1

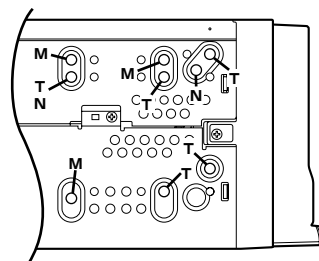
ディスクまたはSDメモリーカードの出し入れの際、車のシフト操作に支障がないことを確認のうえ、取り付け場所を決める。

2

ナビゲーション本体にブラケットを付属のバインドネジ(M5×8)でしっかり取り付ける。



＜取り付け用ネジ穴＞



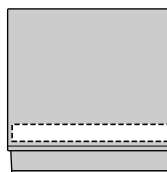
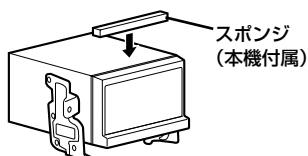
N穴 → ニッサン車専用
 T穴 → トヨタ・三菱車専用
 M穴 → マツダ車専用

3

「ブラケットと一体になったナビゲーション本体」を車両にしっかり取り付ける。

本機取り付けの際、必要に応じてスポンジをご使用ください。

- 車両側の取り付けスペースと本機上部の間に隙間ができる場合は、図を参考にして、付属のスポンジを取り付けてください。



点線枠を目安にして
スポンジを貼り付けてください。

- VIE-X088Vを取り付ける場合は、別売のBIG X用パーフェクトフィットの取付説明書を参照してください。

4 パネル(インパネ)を取り付ける。



Memo

車両雑音から守るために

- アースコードを車体の金属部分に確実につなぐ。(ノイズが出るときはアースの場所をかえてみる)
- 本機や本機からのコードを車両配線から離す。
- バッテリー電源コードとPINコードは離す。
- ノイズサプレッサーを使う場合はできるだけ本機から離す。

7. 確認する

1 コード類を固定する。

シートレールなどの可動部などにはさみ込む、または突起部に当てるなどコードを傷めないように注意して固定する。

2 バッテリーマイナス端子を接続する。

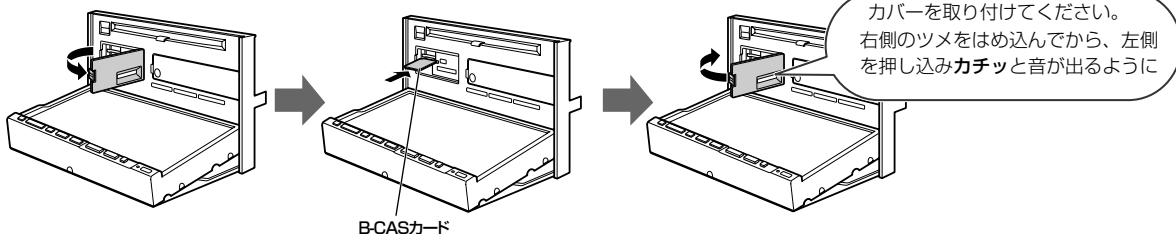
3 エンジンキーをONにして、取扱説明書を参考に本機の動作が正しいことを確認する。

4 ホーン(クラクション)、ストップランプなどの車両電装品が正しく動作することを確認する。

8. B-CAS(ビーキャスト)カードを挿入する

本機で地上デジタルテレビを見るには、B-CASカードを挿入する必要があります。

1 付属のB-CASカードの表面を上にして”カチッ”と音が出るまで差し込んでください。



Memo

- 手ごたえがあるまで確実に挿入してください。
- 通常、B-CASカードを取り出す必要はありません。B-CASカードのテストが終了したら(31 ページ参照)、B-CASカード破損などの場合以外は取り出さないでください。
- B-CASカードについて詳しくは、取扱説明書「4.1 テレビを見る」-「B-CASカードについて」を参照してください。

9. 接続状態を知る

取り付けが終わったら、配線が正しく接続されたか確認をしてください。

本体の電源を入れて、GPSアンテナ、電源コード、周辺機器の接続状況を画面表示で確認することができます。

また、本機の動きがおかしいときにも見てください。接続しているのに、「未接続」と表示されたらコード類を確認しましょう。

1 **設定** スイッチを押します。

設定・情報画面が表示されます。

2 **情報** にタッチします。



情報画面が表示されます。

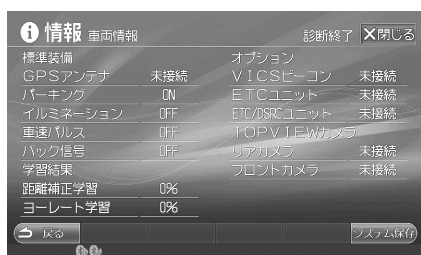
3 **その他** タブにタッチします。



4 **車両情報** にタッチします。



車両情報画面が表示されます。



5 **戻る** にタッチすると情報画面に戻ります。



- 車速パルスは、停車時など車速が入っていない時はOFFと表示されます。

10. B-CAS(ビーキャス) カードをテストする

B-CASカードが正常に機能しているかテストすることができます。
まず、地上デジタルテレビの初期設定を行ってから、B-CASカードのテストを行ってください。

1 **MODE** スイッチを押します。

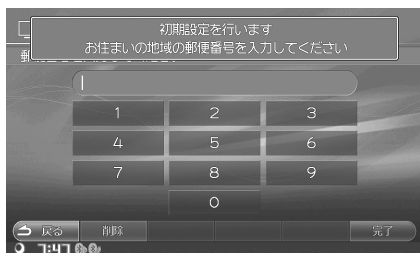
AVソースメニュー画面が表示されます。

2 **地上デジタルテレビ** にタッチします。



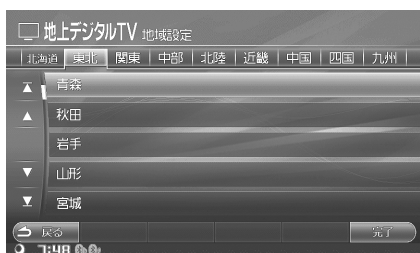
地上デジタルテレビ初期設定画面が表示されます。

3 お住まいの地域の郵便番号を入力し、**完了** にタッチします。



地域設定画面が表示されます。

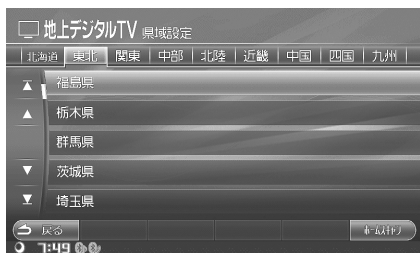
4 お住まいの地域のタブにタッチして切りかえ、地域名にタッチします。



5 **完了** にタッチします。

県域設定画面が表示されます。

6 お住まいの地域タブにタッチして切りかえ、県域にタッチします。



7 **ホームスキャン** にタッチします。

ホームモードスキャンが実行されます。

スキャンしたチャンネルはホームモード(お住まいの地域のモード)のプリセット番号に自動的に記憶されます。

続いてB-CASカードのテストを行います。



- ホームモードスキャンはしばらく時間がかかります。スキャンが終了するまでしばらくお待ちください。

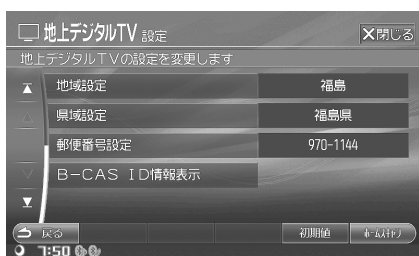
8 画面にタッチして操作スイッチを表示させ、**設定** にタッチします。



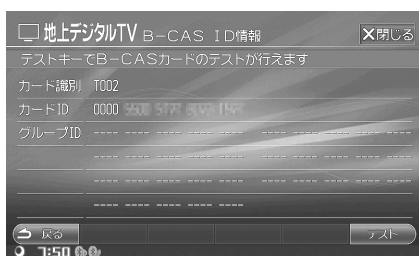
地上デジタルテレビ設定画面が表示されます。

- 上画面のタッチスイッチが表示されていない場合は、**機能2** にタッチして操作スイッチを切りかえてください。

9 ▼ にタッチして画面を切りかえ、**B-CAS ID情報表示** にタッチします。

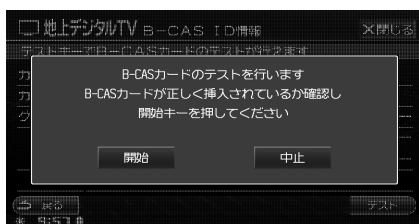


10 **テスト** にタッチします。



テスト開始の確認画面が表示されます。

11 **開始** にタッチします。



B-CASカードのテストが開始されます。

テストが終了するとテスト完了のメッセージを約4 秒間表示し、B-CAS ID情報画面に戻ります。



- B-CASカードのテスト中は、B-CASカードを取り出したり、電源をOFFにしないでください。カードの破損や故障の原因になります。

11. 車種専用セッティングをする

リストから車種を選ぶだけで、音質・画質・背景色や音響空間の設定・画質調整・本体スイッチの色(VIE-X08Vのみ)・画面背景色・車種イラスト・リアカメラガイド線・車両サイズ・距離補正值の項目を車種に合わせて設定することができます。

車種専用セッティングは、本機に登録されている代表車種リストから選択する方法と、アルパインホームページからデータをダウンロードしSDカード・USBメモリー経由で設定する方法があります。

ここでは、本機に登録されている代表車種リストから選択する方法を説明します。

- 車種専用セッティングを行う際は、必ず「別紙 車種専用セッティングについて」を参照し、お客様のお車に合った車種を選択してください。
- アルパインホームページからデータをダウンロードしSDカード・USBメモリー経由で設定する方法については、取扱説明書「1.7 車種専用セッティングをする」(19ページ)および「5.10 車種専用セッティング画面について」(117ページ)を参照してください。

1 **設定** スイッチを押します。

設定・情報画面が表示されます。

2 **車種専用セッティング** にタッチします。



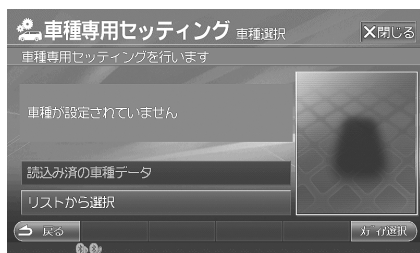
車種専用セッティング画面が表示されます。

3 **車種選択** にタッチします。



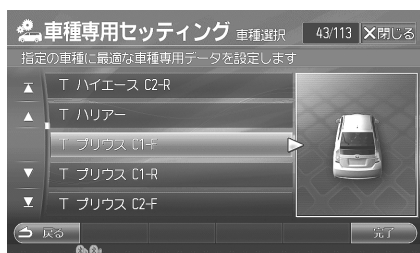
車種選択画面が表示されます。

4 リストから選択 にタッチします。



車種リストが表示されます。

5 車種リストからお客様の車種を選択し、完了 にタッチします。



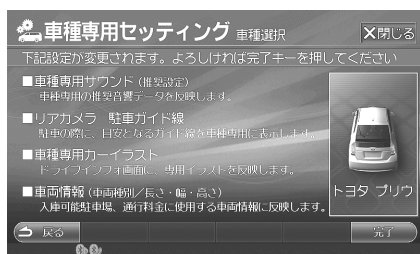
車種専用セッティングの内容が表示されます。



注意

- 車種専用セッティングを行う際は、必ず「別紙 車種専用セッティングについて」を参照し、お客様のお車に合った車種を選択してください。

6 完了 にタッチします。



車種専用セッティングを行い確認画面が表示されます。

- 車種専用セッティング中は電源を切らないでください。

7 **確認** にタッチします。

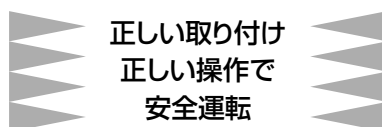


車種専用セッティングの完了です。



注意

- 車種専用セッティングは、通常再設定の必要はありません。再度設定を変更すると同じ車種でも、「リアカメラガイド線」「距離補正地」「自車位置」などがずれてしまいます。



- 仕様及び外観は、改良のために予告なく変更する場合があります。
- 本説明書の写真やイラストは、撮影・印刷条件により、実物と印象が相違する場合があります。
- 本製品は国内専用です。



お問い合わせはインフォメーションセンターへ

- インフォメーションセンター
＜一般回線ご利用のお客様用＞
TEL:0570-006636
※全国どこからでも市内通話料金でご利用頂けます。
＜携帯電話、IP 電話、光電話等をご利用のお客様用＞
TEL:048-662-6636
- 電話受付時間 9:30～12:00 13:00～17:30
(土日、祝日、弊社休業日を除く)
- 電話は混雑が予想されます。FAX でのお問い合わせをおすすめします。
FAX: 048-662-6676
- ナビゲーションをお買い上げのお客様には、ユーザー登録をして頂くと、アルパインホームページ上から E-mail でのお問い合わせができます。どうぞご活用ください。
- アルパイン ホームページ <http://www.alpine.co.jp>
FAQ (よくあるご質問) <http://faq.alpine.co.jp>
アルパイン製品に関して、お客様からよくあるご質問と回答をご紹介します。

